

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月31日 (第3回)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	東広島市 (34212)
地域名 (地域内農業集落名)	三永地区 (本頭、大宮、吉光、池田、諏訪、河田、高尾、加計、新開、末釜、向原、福成寺、峠、1部、2部、3部、4部、5部)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	238.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	149.5 ha
② 田の面積	217.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	21.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	9.5 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・三永地区は、向陽地区ほ場整備事業、上三永地区ほ場整備事業、下三永地区ほ場整備事業により基盤整備を実施した優良水田で構成された水田地域であり、市街化地域に隣接し、新幹線東広島駅から近い立地条件のため、若い住民も増えてきた。一方で、担い手の不足や高齢化の進行による耕作放棄地の増加、水の管理や草刈りの問題など、将来的な農地保全への危機感がある。

・地区内は、4つの集落法人や個人の担い手によって農地の集積が図られているほか、5つの中山間地域等直接支払集落協定と1つの多面的機能支払活動組織により、共同での営農活動や農地の保全に取り組んでいるが、高齢化や後継者不足による不作付地の増加や定年延長等の影響による世代交代の遅れが懸念されている。

・令和6年1月に実施した意向調査では、今後の経営意向について「規模拡大」及び「現状維持」の意向を示した経営体が75%と高かった一方、後継者のいない経営体が62%に上ったことに加え、地区の現状として「高齢化の進行」の回答が最多であり、今後の担い手の不足が懸念される状況にある。今後に向けて必要な取組みは、「有害鳥獣対策」が最多であり、次いで「スマート農業の普及」であった。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・引き続き、水稻を主要作物とするほか、野菜などの園芸作物の栽培を推進する。
- ・市街化地域から近い立地条件を活かし、法人が開設した市民農園の運営により、住民の農業理解促進に努めるとともに、就農者の確保につなげる。
- ・法人間連携を推進する。
- ・高温障害による水稻等の品質低下への対策に関係機関と連携して取り組む。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・市街化区域を除く地区内全域の農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地が農業上の利用が行われる区域とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	42.4	%	将来の目標とする集積率
			50.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・農地中間管理機構を活用して、農事組合法人や認定農業者を中心に地域事情を考慮しながら団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を促進していく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・規模縮小や離農を検討する農家があった場合には、農業委員や農地利用最適化推進委員と連携し、法人等の担い手や拡大意向のある農業者等への集積・集約を図る。 ・営農の効率化を図るため、担い手の分散錯圃の解消や耕作放棄地の発生防止・解消に取り組む。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・農地の集約化を目指し、農業をリタイヤ・経営転換する者は、目標地図に基づき、農地中間管理機構を通じて農地の貸借を行っていく。
(3)基盤整備事業への取組
・ほ場整備が完了して年数が経過し、水路等の施設の老朽化が進行していることから、地域での話し合いを通じて、今後の取組みについて検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地域内で後継者の確保・育成に取り組むほか、意向調査において、新規就農者や企業への貸付けに前向きな回答が63%と高かったことから、地域外からも担い手の確保・育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・委託により効率化が見込まれる農作業については、必要に応じて、委託を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①イノシシやシカによる被害を抑えるため、動物の特性に応じた防護柵等の設置や適切な点検・管理に集落全体で取り組むとともに、捕獲を含め、個体数を減らす取組を進める。
②環境保全型農業直接支払交付金を活用し、農業生産に係る環境負荷軽減に取り組む。
③ドローンを活用した農薬散布や生産管理支援システムの活用等、作業の省力化や生産性向上につながるスマート農業を推進する。
⑦多面的機能支払交付金事業に継続して取り組み、農地の保全や農業用施設(農道・水路)の維持管理を行う。高齢化や非農業者の増加により、農地の畦畔の草刈りや水路の泥上げ等、地域資源の保全管理活動への参加者が減少傾向となっている。少人数で効率的に保全活動が実施できるよう、維持管理の省力化や低コスト化を図っていくとともに、これまで活動に参加していなかった住民に参加を促していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	102経営体		145 ha	0 ha		145 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
65	利用者	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	桃	
66	利用者		0.2 ha	ha		0.2 ha	ha	桃	
67	利用者	水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	桃	
68	利用者	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	桃	
69	利用者	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	桃	
70	利用者	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	桃	
71	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
72	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	桃	
73	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
74	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
75	利用者	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	桃	
76	利用者	野菜、そば	0.1 ha	ha	野菜、そば	0.1 ha	ha	桃	
77	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
78	利用者	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	桃	
79	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
80	利用者	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	桃	
81	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
82	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	桃	
83	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	桃	
84	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
85	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
86	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
87	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
88	利用者	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	桃	
89	利用者	果樹	0.1 ha	ha	果樹	0.1 ha	ha	桃	
90	利用者	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	桃	
91	利用者	野菜	0 ha	ha	野菜	0 ha	ha	桃	
92	利用者	野菜	0 ha	ha	野菜	0 ha	ha	桃	
93	利用者		0 ha	ha		0 ha	ha	桃	
94	利用者	果樹	0 ha	ha	果樹	0 ha	ha	桃	
95	利用者		0 ha	ha		0 ha	ha	桃	
96	利用者		0 ha	ha		0 ha	ha	桃	
97	利用者		0 ha	ha		0 ha	ha	桃	
98	利用者	野菜	0 ha	ha	野菜	0 ha	ha	桃	
99	利用者	野菜	0 ha	ha	野菜	0 ha	ha	桃	
100	利用者		0 ha	ha		0 ha	ha	桃	
101	利用者	野菜	0 ha	ha	野菜	0 ha	ha	桃	
102	利用者	野菜	0 ha	ha	野菜	0 ha	ha	桃	